

医療用酸素ガス流量計

【警告】

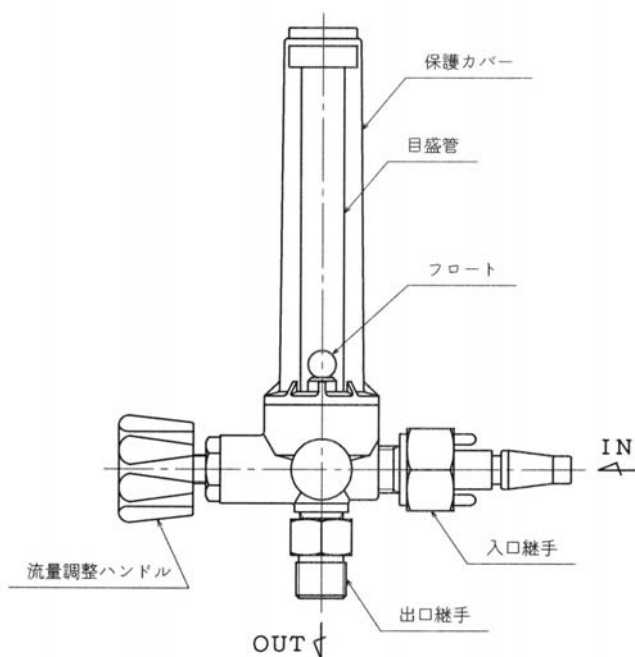
1. 本製品を直接高圧ガス容器(ボンベ)に取付けて使用しないこと。[本製品の流量計保護カバー部が破裂する恐れがある]
2. 清掃や滅菌をする際は、乾いた布等に水又はエチルアルコールを染み込ませ拭くこと。[エチルアルコールへの浸漬及び、その他、化学薬品を含んだ洗剤等を使用した場合、保護カバー部にクラック(割れ)が起こり破裂する恐れがある]***
3. 酸素ガス供給中は、火気を本製品の出口やカニューラ等の近くに近づけないこと。[酸素ガスの特性により炎を上げて激しく燃える可能性がある]
4. 流量計は垂直に取付けること。[傾いているとフロートが正しい流量を示しません]
5. 本製品は禁油処理が施されていますので、回転部分やガス導入口等への注油や油脂の付着した布で本製品を拭くなどの行為は行わないこと。[酸素ガスによって引火し、発火する恐れがある]

【禁忌・禁止】

1. 酸素ガス以外のガスには、使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 形状



2. 構造

本製品は、酸素ガス配管に取付けるための入口継手部、配管から導入された酸素ガスの放出量を調整する流量調整機構部、ガスを放出する出口継手部とで構成される。

3. 原理

本製品を酸素ガス配管に接続すると、配管内の酸素ガスがガス導入口より進入し、内部のニードル式流量調整機構により流量が調整される。その後、出口継手部から目的に合わせ流量を調整した酸素ガスが供給される。

【使用目的又は効果】****

病院内の酸素ガス配管に接続し、患者の状態に合わせ流量を調整して供給する。又、本製品は、主に肺炎患、酸欠、術後の再発等の患者の治療に使用する。

【使用方法等】****

1. 流量調整ハンドルを右方向に回転させバルブを閉じる。
2. 酸素用アウトレットバルブのピンホールと本製品の入口継手部に設けられた 2 本のピンの位置を合わせた後、本製品を押し込み固定する。
3. フロートを見ながら流量調整ハンドルを回して、ご所要のガス量に合わせる。
4. 使用を止めるときは、流量調整ハンドルを回しバルブを閉じて、アウトレットバルブより本製品を外す。

【使用上の注意】

1. 本製品に強い衝撃を与えないように大切に扱うこと。
2. ホース等の接続部から酸素ガスの漏洩がないことを、使用前及び使用中に確認すること。又、ネジ部やホース等の接続部に大きな力を加えないこと。気密の確認には、石鹼水(家庭用中性洗剤を 10～20 倍に水で薄めたもの)を使用すること。
3. 本製品は、防水構造とはなっていないため、屋外で使用する場合には、直接雨水等の水分がかからないように適切な防滴保護の処置を行うこと。

【保管方法及び有効期間等】****

1. 本製品は、精密機械ですので保管する場合も強い衝撃を与えないように保管すること。
2. 本製品内に水分が入ると部品が腐蝕等により正常に作動しなくなる恐れがあるので、水分等が入らないような場所で保管すること。
3. 保管期間が 1 ヶ月以上となる場合には、本製品を乾燥剤と共にビニール袋に入れ、密封して保管すること。
4. 恒温状態で保管し、保管温度は -10～+60℃ 以内とすること。

【保守・点検に係る事項】

本製品の使用後のクリーニングにおいては、乾いた布等に水又はエチルアルコールを染み込ませ本製品の外面をきれいになるまで洗浄すること。****

1. 使用者による保守点検事項****

- 1) 本製品にガスが入っている状態で、各ねじ込み部及び、各接続部に石鹼水(家庭用中性洗剤を 10～20 倍に水で薄めたもの)を塗布し、ガスの漏洩がないことを確認する。
- 2) ガス供給後、流量調整がスムーズにできることを確認する。

2. 業者による保守点検事項****

- 1) 最低年 1 回以上実施することを推奨する定期点検は、購入した販売店に相談すること。
- 2) 3 年毎に実施することを推奨する定期メンテナンスは、購入した販売店を通して製造販売業者に依頼すること。

【包装】

1 台/1 箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】****

製造販売業者:  株式会社 ユタカ 松本工場

〒390-1242 長野県松本市和田南西原 4010-12
TEL 0263-48-1001(代表)

緊急連絡先: 株式会社ユタカ 本社

〒146-0085 東京都大田区久が原 5-17-5
TEL 03-3753-1651(代表)
FAX 03-3751-5177(代表)